



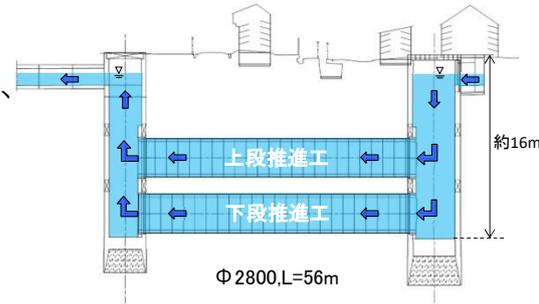
HPIに掲載している「和歌山だより」は、
こちらのQRコードからもご覧いただけます

工事の現場見学会を実施しました!!

令和3年5月から和歌山市和佐関戸及び禰宜において、排水専用バイパス水路である千旦放水路（推進部）の新設工事を実施しています。工事は直径2800mmの上下2連の推進工事であり、6月末に下段推進工に着手したところです。

事業の目的や工事内容に興味・関心を持っていただくため、**和歌山市立和佐小学校の5年生59名**を対象として、現場見学会を6月28日に開催しました。

また、現場見学会に当たり、水路の役割や工事概要について事前に理解してもらうため、事前学習会を26日に開催しました。



事前学習会

事前学習会は和佐小学校で実施しました。和歌山平野事業所からは、**水路の役割**や**防災に関する説明**を通して、本事業の概要と工事の目的について児童の皆さんに学習してもらいました。

工事業者からは**建設業の役割**や**推進工法の説明**、本工事で使用する推進機の説明を行いました。

学習会では、「水路は何のためにあるのかな?」「水路から水があふれないようにするためにはどうしたらよいでしょう?」という事業所職員からの問いかけに対して、多くの児童が元気よく答えてくれました。また、推進機が動いている様子の動画を興味深そうに見入っている様子が印象的でした。



現場見学会

現場見学会は千旦放水路の工事現場で実施し、工事を身近に感じてもらえるよう様々な見学や体験の場を設けました。

深さ約16mの立坑下に設置している**推進機と推進管**を見学した児童からは「想像していたよりも深い穴でびっくりした」という声が多く上がっていました。

立坑を上から覗いたり...



推進管にお絵描きしたり...



そのほかにも、推進機と推進管の据付に使用する**クレーン**の見学や乗車体験、**レンガのアーチ橋づくり**の体験を行いました。また、据付前の推進管には絵やメッセージを書いてもらい、カラフルな推進管となりました。

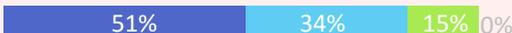
クレーンの見学をしました



実際に現場で機械や管を見ながら説明する場では、児童自ら質問をするなど積極的な姿勢で臨んでいる様子が伺えました。その様子から、この現場見学会が工事に強く興味を持つ良いきっかけになったと実感しました。

アンケート結果発表

Q1 水路の役割や浸水被害の説明



■ よく分かった ■ 少し分かった ■ 難しかった ■ とても難しかった

Q2 千旦放水路工事の見学



■ よく分かった ■ 少し分かった ■ 難しかった ■ とても難しかった

◎全体を通しての感想やメッセージ

- これからも農作物のために頑張ってください!
- 貴重な工事現場の中を見学させてもらい、ありがとうございました。これからも支え合って頑張ってください。応援しています!

推進管と一緒に集合写真撮影



